

令和 8 年度の事業について（案）

1. コミュニティバスの運行計画

（1）取組内容

- ① **【継続】** コミュニティバス市内小中学生の無料化
⇒子どもの行動範囲拡大、放課後時間の多様化に伴う子どもの移動手段確保を目的として実施。
- ② **【継続】** 車内デジタルサイネージ導入での PR
⇒運賃収入以外の収入源確保（現在 12 社掲載中）
- ③ **【繰越】** バス車両の購入
⇒運行車両の老朽化や、修理部品の販売終了などもあり、今後の運行に支障をきたす恐れがあることから新たにバス車両（中型）1 台を購入
昨年度予算に計上していたが、納車が 8 年度になることから繰越で実施。
- ④ **【新規】** お盆・年末期間の運行便数の減（別紙 1 参照）
⇒運転手不足が課題となる中、運転手の労働環境改善による今後の運行体制の維持を目的に、お盆（8 月 13 日～16 日）年末（12 月 29・30 日）を休日ダイヤ（51 便←平日ダイヤは 69 便）で運行。
- ⑤ **【新規】** 乗継バスの実施（別紙 2）
⇒デマンド型乗合タクシー利用者がコミバスに乗り継ぐ際の運賃を無料とする。
周辺地域の公共交通利便向上及びコミバスの利用促進を目的に実施。

（2）目標

R8 年度利用者数見込：200,000 人

（R7 年度目標 212,000 人、見込 190,000 人、1 月末 164,487 人（前年同月比約 103.8%））

※公共交通計画では R8 年度の利用者 23 万人を最終目標としている。

（3）事業費（ ）内は前年度

コミュニティバス運行費 62,693 千円（63,134 千円）

【減額理由】 今年度利便増進計画を策定したことによる国補助金の増

コミュニティバス車庫運営費 7,556 千円（6,572 千円）

【増額理由】 人件費の増

コミュニティバス位置情報システム 407 千円

コミュニティバス車両購入 18,000 千円

（国補助金、越後交通負担分を除いた額、国補助金については、6 月申請予定）

2. デマンド型乗合タクシーの運行計画

（1）取組内容

【継続】 デマンドタクシー日祝運行

（2）目標

R8 年度利用者見込：約 3,500 人

（令和 7 年度目標：約 4,260 人、見込：3,400 人、1 月末 2,892 人（前年同月比 96.0%））

※公共交通計画では R8 年度の利用者 4,400 人を最終目標としている。

(3) 運行ルート・便数(R7 年 10 月より下線エリアを追加)

【1】今町田園ルート 【2】新潟地区・戸代新田町ルート

【3】牛ヶ嶺町、宮之原町、河野町、明晶町、池之内、名木野ルート

【4】杉澤町、池之島町、堀溝町、文納ルート

【5】葛巻地区、鳥屋脇町、耳取町、山崎町ルート

【6】元町 1 丁目、島切窪町、石地町、西山町、町屋町ルート

※全ルート 1 日 7 往復（各地区始発 8:00 頃～市内最終 16:30 頃）

(4) 事業費（ ）内は前年度

7,880 千円（7,440 千円）

※令和 7 年 12 月に見附市を含む新潟県内のタクシー運賃が値上げ(9.79%)となったことに伴う、デマンドタクシーの補助上限額引き上げ（普通車：3,500 円⇒3,900 円、ジャンボ：4,500 円⇒5,000 円）及び運賃値上げによる費用負担の増。

3. レンタサイクル事業

(1) 取組内容

【継続】 レンタサイクル事業の取組

⇒今年度 6 月より、無人で借りられるレンタサイクル事業を開始。見附駅とイングリッシュガーデンの 2 箇所に設置をしたところ、駅で多くの利用が見られたことから 8 年度は、見附駅の設置台数を増やすことを想定している。

(2) 目標

R8 年度利用回数見込：200 回

(R7 年度実績：126 回（11 月末まで）

※公共交通計画では R8 年度の利用者 2,400 回を最終目標としている。

※レンタサイクルの利用期間は 4 月頃～11/30（約 7 ヶ月間）

(3) 事業費（ ）内は前年度

200 千円（830 千円）

※システム費用が不要になったことによる減額

4. その他（見附市予算より実施する事業）

(1) コミュニティバス時刻表の配布（予算：220 千円）

・コミュニティバス時刻表（175,000 部）

全戸配布、公共施設、飲食店、企業、医院等

(2) 深夜タクシー運行補助の実施（予算：2,400 千円）

・0～5 時の深夜タクシー運転手確保のために費用の一部を助成。

(3) 2 種免許取得補助（予算：500 千円）

・運転手不足に対し、運転手確保の支援として 2 種免許取得費の支援（1/2）を実施。

(4) コミュニティバス市内中学生以下無料券の配布(予算：100 千円)

- ・コミュニティバス無料券を市内小中学生に配布

(5) 生活交通確保対策補助金(予算：1,840 千円)

- ・国庫補助路線のうち低収益路線(4 路線)に対して支援を実施。

(6) 公共交通計画策定業務(予算：5,390 千円)

- ・来年度末に現在の公共交通計画が満期となるため、新たに交通計画を策定するもの
同時に利便増進計画についても策定予定

(7) 小中学校再編に向けた移動等策定業務(予算：6,941 千円)

- ・令和7年度内に策定予定の学校適正配置計画に対応した児童・生徒の通学をはじめとした市全体の移動手段のあり方について、公共交通、市や地域等所有する交通手段などあらゆる手段を念頭に検討を行う。

当該事業については、企画調整課が中心となって、公共交通部門・教育部門等全庁的な体制で検討を行っていく。